

## 全日本選抜柔道体重別選手権大会 100 kg 超級で上川選手が金メダル獲得

4 月 5 日から 2 日間にわたり行われた全日本選抜柔道体重別選手権大会で、京葉ガス柔道部の上川大樹選手が 100kg 超級で優勝しました。



準決勝で払い腰の「一本」を決める上川選手



決勝戦を戦う上川選手

全日本柔道連盟が主催する同大会が福岡国際センター（福岡市）で行われ、各階級に 8 人ずつ出場し、男女それぞれ 7 階級でトーナメント方式により「階級日本一」の座が争われました。

京葉ガス柔道部からは上川大樹（100kg 超級）、岩尾敬太（同）、下和田翔平（90kg 級）、西岡和志（73kg 級）の 4 選手が出場し、このうち大会初日、上川選手が優勝、下和田選手が 3 位になりました。

上川選手は 1 回戦で上杉亮太選手（旭化成）に優勢勝ちし、続く準決勝では原沢久喜選手（日本大学 4 年）に開始 15 秒、払い腰を決め一本勝ちしました。決勝戦は 3 年連続で七戸龍選手（九州電力）との対戦となり、序盤で有効を奪われましたが残り 2 秒で逆転の技ありを決め、金メダルを獲得しました。

下和田選手は 1 回戦で西山将士選手（新日鐵住金）に優勢勝ちしたものの、準決勝でベイカー茉秋選手（東海大学 2 年）に一本負けを喫し決勝進出はなりませんでした。